

SSKO

社会福祉法人 はらからの家福祉会

われら同胞

NO.45



☆☆☆ 目次 ☆☆☆

- 2 p 新年のご挨拶
- 3 p さつき共同作業所近況報告
- 4 p プラッツ旅行
- 5 p グループホーム合同バーベキュー
新職員ご挨拶
- 6 p 賛助会コーナー

謹賀新年

はらからの家福祉会 理事長 須長 靖夫



新年、明けましておめでとうございます。旧年中は、皆様方より多くのご理解とご支援を頂きましたことに、私たち一同、心より御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返り心に残っておりますこととしては、何と云っても9月11日(金)に第29回精神保健福祉講座を、イタリア北部のトレント市から5名の方をお招きし、伊藤順一郎氏(メンタルヘルス診療所)つぼふあーれ(NPO法人地域精神保健福祉機構・コンボ)を案内人にして、国分寺講演会を開催できたことと思っております。

れ講演会を開き、幅広く「精神保健にイタリアの風」を日本に吹かせるべくイタリアからやって来られた方々です。私たちは他団体と協力してそれを受け止め、しっかりと連携して実施にこぎ着ける必要がございました。実際は予定していた他の団体が抜けてしまい、実現が危ぶまれた時もありましたが、最後までやり遂げるといふ決意が、私ども法人の職員にはありました。私はこのことが大きな収穫・発見であり、また、理事長としての誇りでもあります。

この5名の方々に代表されるイタリア・トレントでの活動を少しご紹介致しますと、「Farsesime」一緒にやろう!みんなで作ろう!」という運動が始まりで、精神疾患のある方やそのご家族が、自らの体験を基に、医療・福祉機関において「専門家」として支援に関わっていくという、国としての注目すべき活動になってきているということがございます。

医療・福祉・住居・就労などの支援を行う取り組みを「UFE」と言っておりますが、UFEとは、Utenti(当事者) Familiari(家族) Esperti(専門家) という言葉の頭文字で、専門家としての利用者・家族を意味する、と伺っております。

日本でも障害当事者およびそのご家族が、自らの体験を基に、支援を受ける立場ではなく支援する立場に関わっていくという取り組みが、少しずつではありますが、出てきております。

私は当法人の理事長ですが、同時に当事者団体である国分寺あゆみ会(精神の家族会)の会長でもありますので、UFEという、イタリア・トレントでのこの取り組みに大きな感動を覚えました。

障害当事者とそのご家族が、支援者の専門家として、いつの日かこの国でも当たり前のこととして社会福祉法人と共に活動できることを初夢として願いつつ、新年のご挨拶とさせていただきます。

今年も倍旧のご愛顧とご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

さつき共同作業所近況報告



地域交流その1
近隣アビキッズパソコン
スクールの花壇にお花を植
えさせていただきました！！



バラ・ピオラ・マリーゴ
ールド・チューリップの
球根を植えています。
キッズ達とお花を楽し
めるといいな♪



地域交流その2
近隣の本多様のご厚意で畑を借
りることができました。
小松菜・水菜・ほうれん草・を植
えたくさん収穫し料理プログラ
ムでおいしく頂きました。



国分寺プレミアム商品券取扱店に加盟しました。
外を通るお客様に実演販売しています！



ピア国分寺玄関に商品
のディスプレイを設置
しました。
より素敵にするために
随時レイアウトを変更
しています♡



第18回フラッツ浜名湖・三ヶ日旅行

赤い羽根共同募金助成を頂き、行ってきました。

11月18日～19日、第18回目フラッツ浜名湖・三ヶ日旅行に職員3名、メンバー6名、計9名で行ってきました。

1日目に行った遊覧船では、冬場の間、エサを投げるとカモメさんが遊んでくれるようで、チャレンジしてみました。最初は天候もすぐれず、カモメさんもそんなに周囲にはいなかったのですが、半信半疑でした。いざ、遊覧船が発航しエサのかっぱえびせんを投げると素早くエサをキャッチ。私達と共に浜名湖



を満喫しているようでした。とはいえ、1日に何度も運行をしている遊覧船です。エサを食べているカモメさん達は塩分と体調管理は大丈夫なのかと要らぬ心配をしつつ、宿へ向かいました。

宿では、1日の疲れを癒す温泉とお部屋、また夕ご飯には鰻の上にあんかけ鮓のつた茶わん蒸しが絶品でした。その他にも彩りよい料理が沢山並び大満足でした。2次会のカラオケでは、ソロで熱く熱唱をされる人、デュエットを楽しまれる人、いつの間にか「懐かしいね。」とつぶやきながら自分の曲でなくても歌う人など、大盛り上がりでした。

今回、フラッツ旅行の中では一番遠方へ行きました。車内で過ごす時間も多かったですが、その分一人ひとりと話しをしながら交流をする時間が出来たこと、そして怪我無く最後まで元気に旅行を終えられたことがよかったです。また来年度のフラッツ旅行も、たくさんの方々に参加して頂けるよう、楽しい企画を準備したいと思います。



グループホーム合同バーベキュー

10月24日(土)に昭和記念公園内にあるバーベキューガーデンへ行ってきました。秋晴れの空の下、炭火で焼いた肉や野菜、焼きそばなどの料理を楽しみました。



火おこし中。空気の通り道を作るのがコツです(^^)v



炭火焼き料理の味は格別！香ばしく焼けた肉は大好評でした。



〈新職員ご挨拶〉

12月よりグループホームの職員になりました風間砂織と申します。以前は、病院で地域移行支援やデイケアを担当していました。実践を行っていく中で病院から地域へ送り出すのではなく、地域で受け入れる側での支援に関わりたいと思うようになり、はらからの家福社会の活動に強く惹かれこの度、入職することになりました。

今までやってきたことや知り合った方々との縁もあり、はらからの家福社会の一員となれたことをとても嬉しく思っております。

自らの経験や実績を活かすとともに、違う立場からの視点を学びながら個々へのよりよい支援に繋がっていきけるように頑張りたいと思います。皆様には何かとご迷惑をおかけするかと思いますが、よろしくお願いいたします。



はらからの家福社会賛助会コーナー

はらからの家福社会賛助会は、社会福祉法人はらからの家福社会の運営の維持・発展のために支援・協力することを目的として、主に財政的支援・協力の活動を行っています。

当会の趣旨にご賛同いただける方の入会をお待ちしております。会費は年間1口2千円からで何口でも可能です。会員の皆様には「われら同胞(本誌)」を送付しているほか、年に一度懇談会を開催し、会計報告・活動報告を行っています。皆様の会費は毎年取りまとめてはらからの家福社会に寄付させていただきます。

入会を希望される方は、下記口座に会費をお振込ください(同封の振込用紙も使えます。)

郵便振替口座番号

00180-8-130179

加入者名：はらからの家福社会賛助会

会費を納入いただいた方の名前を本誌に掲載させていただきます。

匿名希望の方はその旨通信欄にお書きください。

<平成27年度8月から10月の間に賛助会費をご納入頂いた皆様(順不同 敬称略)>

池谷 敏子 石川 義博 石倉 菊子 植村 雅子 川島 章子 近藤 節朗 坂田 晴広 坂元 信幸
高木 健二 辰田 智子 萩原 久丸 藤田 英親 山崎 昌子 山田 正則 荒木 浩 吉田 稔
高木 なをみ 中村 美津江 野崎 多美子 松本 紀久代
グループホーム CARTON にしの木クリニック 匿名2名

*実務上の手違いにより、誤って44号に吉田りゅうじ様のお名前を掲載致しましたので、訂正してお詫び申し上げます。

はらからの家福社会ホームページ

<http://harakaranoie.com/>



あけましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしく

お願い申し上げます。

われら同胞編集委員一同

【編集人】

社会福祉法人はらからの家福社会

〒185-0021

東京都国分寺市南町 3-4-4

TEL 042-323-5637

FAX 042-328-3240

E-Mail harakara@jcom.home.ne.jp

【発行人】

障害者団体定期刊行物協会

〒157-0073

東京都世田谷区砧 6-26-21

【定価】¥120

